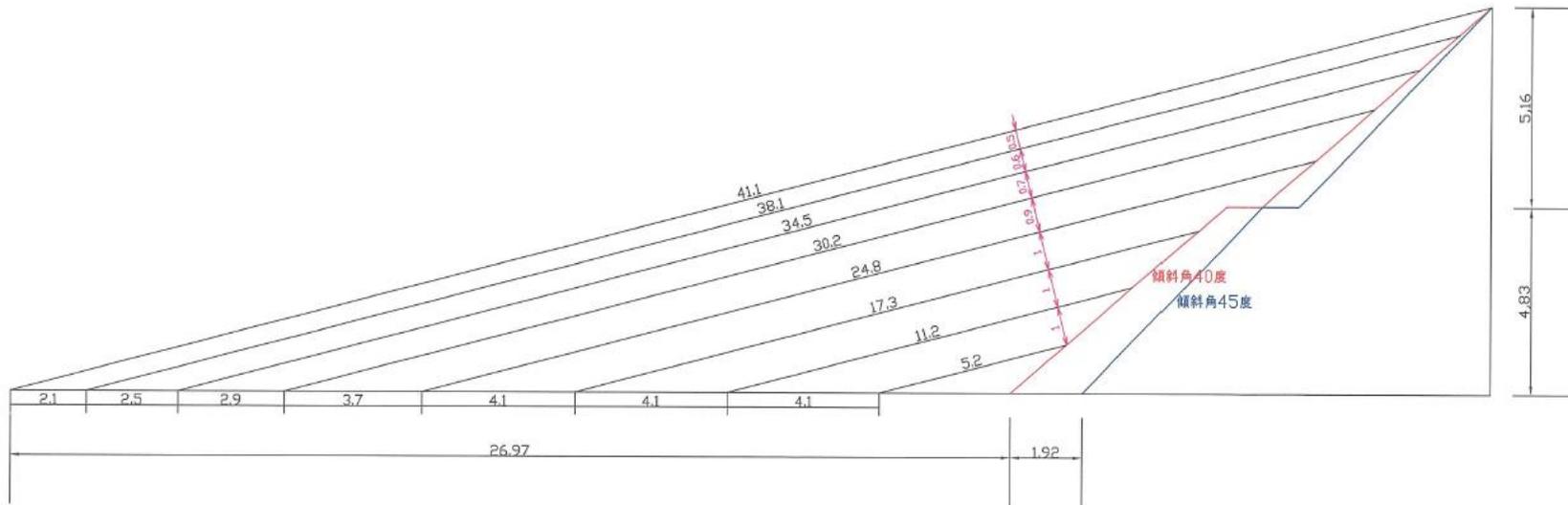


仕様書

件名	大矢野原演習場安全化探査役務
作成年月日	令和5年 1月 18日
作成者	北熊本駐屯地 師団司令部 第4部建設班 田代 勇太
1. 適用範囲	本仕様書は、陸上自衛隊北熊本駐屯地大矢野原演習場内における「弾着地域」の安全化のため、実弾等の残存物（不発弾等）を対象とする探査に関して適用する。
2. 要求期間	① 日時 令和5年3月16日（木）～23日（木）（予備日含む） ② 時程 集合時間0730 作業開始0815～1700
3. 探査場所	熊本県上益城郡山都町北中島2160大矢野原演習場内 付紙第1「探査地域案内図」参照
4. 概要	弾着地域内残存物（不発弾等）の金属探知機による探査（掘削）安全化：約6700㎡ 付紙第2「探査面積図」
5. 安全確認使用	① 探査区域 ア 探査区域の表示は、自衛隊等が軽始テープ等で実施する。 イ 探査のための掘削は自衛隊の油圧ショベル（OP付）で実施する。 ウ 探査区域の測量表示及び細部区割り表示は、受託者が実施する。 ② 表層探査 ア 地表面下1.0mまでの残存危険物等を発見すること。 イ 探査に必要な器材等は、受託者が用意する。 ウ 本件に際し、事故・火災防止及び第三者への被害等の安全管理には十分注意するものとし、万が一災害等が発生した場合は、請負人の責任において処置するとともに速やかに監督官に報告するものとする。 エ 探査に必要な器材等は、受託者が用意する。 オ 作業終了時には、現場の清掃及び片付けを実施するものとする。 カ 探査により発見した異物等の処分は、自衛隊が実施する。 カ かし担保 探査終了後、本区域から危険物が発見された場合、受託者は再度探査を実施しなければならない。

探查面積図



※正面幅30 m

探查面積合計6,777 m²